千葉県言語聴覚士会について

本会は言語聴覚士法が施行された年、2001年6月に設立され、2012年5月一般社団法人となりました。
言語聴覚士の資質と社会的地位の向上に努め、地域社会における保健、医療、福祉、教育の発展と充実に寄与する事を目的として活動し、以下のような事業を展開しています。

1. 会員の資質の向上に資する事業
2. 言語聴覚士の社会的地位の向上に資する事業
3. 地域社会における保健・医療・福祉・教育の発展と充実に寄与する事業
4. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

本会マスコットキャラクター CAST-5（キャスティーファイブ）について

CASTとは、本会の英語名（Chiba Association of Speech-Language-Hearing Therapists）の頭文字です。ファイブはキャラクター5体のことを指しています。
『話す（菜の花）』『書く（落花生）』『読む（枇杷）』『聞く（梨）』『食べる（玉葱）』など言語聴覚療法をイメージし、かつ千葉県の名産品を組み合わせてキャラクター化しました。

菜乃花 語（なのはな かたる）
CAST- 5のリーダー。本会を盛り上げるため日々頑張っている、元気一杯な女の子。

梨 聞恵（なし きくえ）
話を優しく聞いてくれる、CAST- 5のお姉さん的存在。

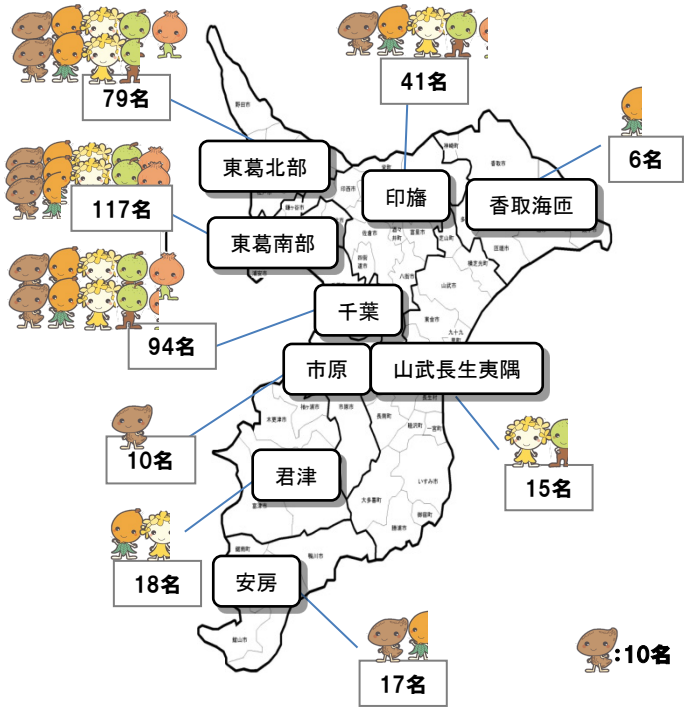
落花生 書太朗（らっかせい かきたろう）
こう見えて、とても達筆な男の子。毎日、日記を書いている。

枇杷 読美（びわ よみ）
読書が大好き、とても博識な女の子。

玉葱 食男（たまねぎ はむお）
何でも美味しそうに食べるのが特技。

本会正会員の言語聴覚士　分布図（2023年1月現在）

約450名の会員が
県内に勤務しています。

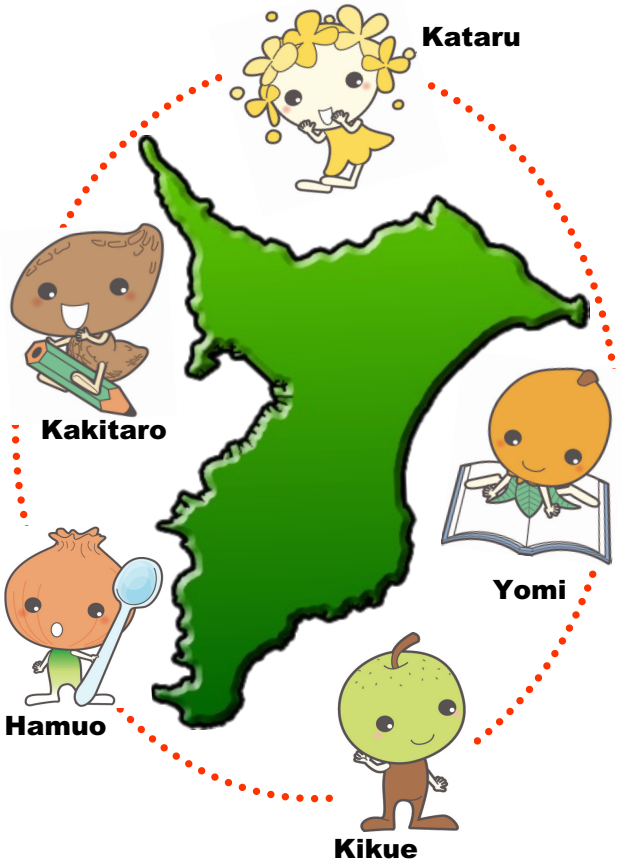


一般社団法人千葉県言語聴覚士会

〒263-0042
千葉市稲毛区黒砂２-6-15　メゾンK102

FAX：043-243-2524
https://chiba-st.com/

一般社団法人
千葉県言語聴覚士会
Chiba Association of
Speech-Language-Hearing Therapists



Since 2001

https://chiba-st.com/

言語聴覚士（ＳＴ）とは？

ことばや聞こえなどコミュニケーションに障害のある方や食べること･飲み込むことに障害のある方に対して、相談･評価･訓練･指導などの援助を行う専門職です。

言語聴覚士になるには?

国の指定した養成校（大学、専門学校）で、定められた教育課程を修了し、国家試験受験資格を得る必要があります。国家試験に合格すると、言語聴覚士として働くことができます。

こんな症状のある方を援助します

うまく話せない

字が書けない

ことばが分からない

字が読めない

聞き取りにくい

うまく食べたり飲んだりできない

こんな障害が対象です

失語症

脳の障害によって、話す、聴く、読む、書く、計算するなどが難しくなります。

構音障害

発音が歪む、はっきりしないなど、ことばが不明瞭になります。

摂食・嚥下障害

食べ物や飲み物を、うまく飲みこめず、むせたり、時には肺炎を起こすこともあります。

聴覚障害

先天性、疾患、加齢などで、聞こえにくい状態をいいます。

言語発達遅滞

同じ年齢の子どもに比べて、ことばの発達が遅れている状態をいいます。

他にも･･･

吃音
音声障害
高次脳機能障害
認知症
などを対象にしています。

言語聴覚士は こんなところで働いています

- 病院（急性期、回復期、療養型）
- クリニック
- 介護老人保健施設
- デイケア･デイサービス事業所
- 言語特化型デイサービス
- 訪問看護ステーション
- 特別養護老人ホーム
- 障害者相談センター
- 障害者福祉センター
- 児童発達支援事業所
- 重症心身障害児施設
- 小学校、中学校、特別支援学校（聾学校を含む）
- 言語聴覚士の養成校
- 保健センター
- 難聴幼児通園施設
- 放課後等デイサービス
- 幼児ことばの相談室

など

★注：施設によっては、言語聴覚士がいない場合もあります。本会ホームページに『言語聴覚士のいる県内施設一覧』が掲載されていますので、ご参考下さい。